

第2部 鉄道交通

第1章 鉄道交通事故の動向

1 近年の運転事故の状況

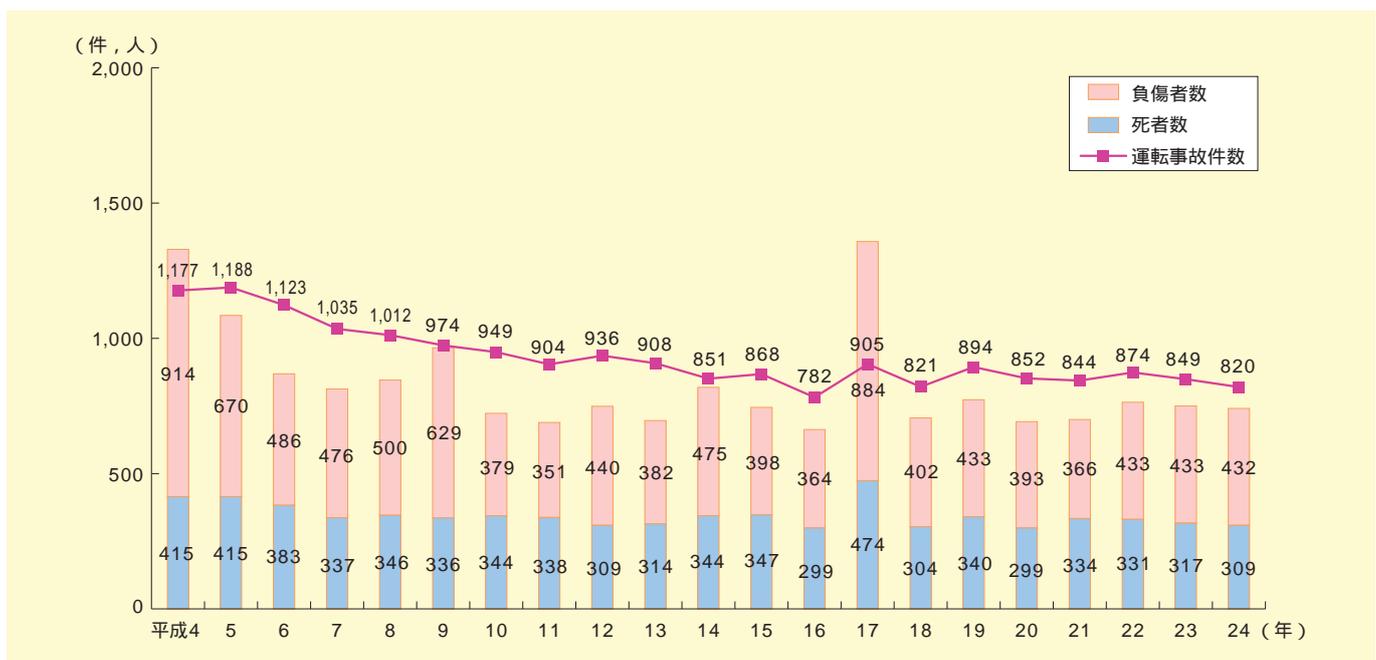
鉄道交通における運転事故は、長期的には減少傾向にあり、平成4年に1,177件であったものが、平成24年の運転事故件数は820件となった。

運転事故による死傷者数は741人（うち死亡者309人）で前年比1.2%減となった。

踏切事故は302件で前年比6.5%減であり、運転事故の36.8%を占めた。また、死傷者数は200人で前年比3.8%減となった。

平成24年中の重大事故（死傷者が10名以上又は脱線両数が10両以上生じた事故）は、9月24日に京浜急行電鉄の本線追浜駅～京急田浦駅間において、列車脱線事故が発生し55人が負傷するなど、3件発生した。

運転事故の件数と死傷者数の推移



注 1 国土交通省資料による。
2 死者数は24時間死者。

運転事故

列車衝突事故，列車脱線事故，列車火災事故，踏切障害事故，道路障害事故，鉄道人身障害事故及び鉄道物損事故をいう。なお，軌道の運転事故は，鉄道運転事故と同様に定義する。